



2 学生活動への支援

学生の自主的な活動である課外活動や大学祭において、

学生が主体的に取り組む環境を整えることで、学生が主体的に活動に参加する

各種社会貢献活動を

活発にするた 環頤魯杭 紗丸生菌A 奢絨ア ゆま

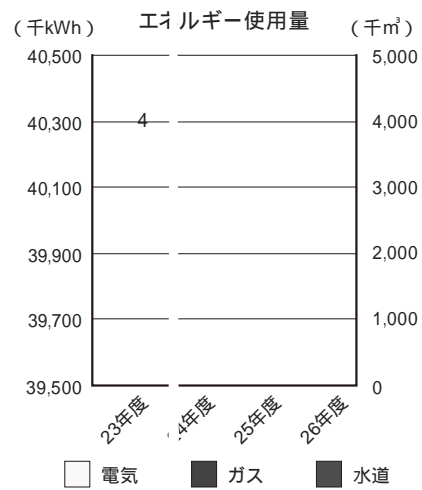
3 学術研究の推進

に関するパネル展示のほか、参加者がチリモン(チリメンジャコの中に混じっている魚の子もやタコ、イカ、貝などの小さな生き物のこと)を探して台紙に張り、カードを作るイベントや、双眼実体顕微鏡を使ったチリモンの観察などを実施し、小さい子どもや親子連れなどに、生物多様性を通して環境に興味を持っていただくきっかけづくりを行いました。

また、平成26年10月にE S Dユネスコ世界会議が名古屋市で開催され、その一環として、本学でも右のとおり、E S Dをテーマとした複数の取組みを行いました。

さらに、右の取組み以外にも、平成26年9月26日には名古屋市高年大学鯉城学園において人間文化研究科の教員が、「持続可能な未来社会のために-E S Dユネスコ世界会議に向けて」というテーマで、また10月4日には同じく人間文化研究科の教員が「あいち環境塾」特別公開講座にて「持続可能な社会実現の鍵」をテーマとして、同月4日には同講座を開催した。

塩 訥 額と月26日



環境への取組に対する 憲す 憲す 憲せクシび び 蒔のテぬ驕はエば 并薬